



リビングから小上りの和室方向を見る。コートの手左は多目的なサンルーム。



リビング、吹抜けとコート。



子供室前の通路から吹抜けを見下ろす。



西南ファサード。右手は主屋。コートはルーバーで囲う。玄関間を広く確保する。吹抜けを囲う通路。上部はロフトとしている。



宮城県大河原町に建つ住宅です。国道4号線から少し入り込んだ敷地にはもともと親世帯の住宅があり、その敷地を分割して子世帯の住宅を建築することになりました。

住宅は主屋と東西に横並びの配置とし、7.5帖分のコート（デッキ）をコ型に囲う全体形状としています。コートを3方に囲うのはサンルーム・リビング・ダイニングで、客間を兼ねた小上りの和室やキッチンも連続して配置されます。水回りと収納は北側に配置され、納戸やファミリークローゼットなどの収納スペースもたっぷり確保されています。2階は個室スペースとしており、吹抜けを囲うように寝室や子供室が配置されます。さらに吹抜け上部にはロフトを設け、小屋裏収納やサブスペースとして空間を無駄なく活用します。

吹抜けを介しての上下の繋がり、コートを介しての内外の繋がりなど、家族同士の繋がりを最重要視したオープンなコートハウスです。



ダイニングからコートやリビング方向を見る。



リビング。上部は吹抜け、右手はコート。家中が明るく一体に繋がる。

## ■特集 "大河原のコートハウス"

### >>2014年も感謝です。

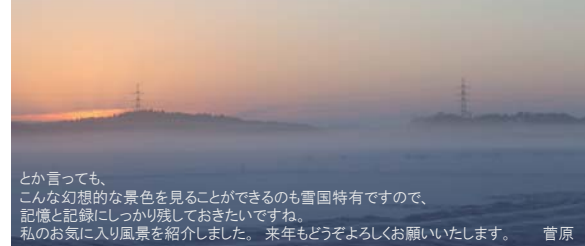
皆様こんにちは。小野です！今年もあっという間に過ぎ、2014年も終わりを迎えようとしています。本当に内容の濃い一年でした。私にとって、自分の環境が大きく変わったりと、いろいろあったなあとしみじみ思います。笑  
皆様はどんな一年でしたでしょうか？  
今年も残り少なくなって参りましたが、一日一日を大切に、気を引き締めて過ごしていく所存であります！忘年会シーズンですが、飲み過ぎには要注意です！笑

さて、話は変わりますが、写真は私の大好きなBALLメインソジャーの瓶です。部屋に10個くらいあります（笑）100年以上の歴史をもつアメリカ製 Ball 社の瓶のブランドのものです。デザインがレトロで素敵ですね。最近は秋田のカフェでも、ドリンクの容器として見かけるようになりました。保存容器としてだけでなく、ソーブディスベンサーやポトルランプとして、使っています。いろいろなシーンで使える、便利でお洒落なアイテムです。それでは、皆様よいお年をお迎え下さいませ！



### >> 冬の朝

こんにちは。今回も1枚ものシリーズです。年賀状っぽいですが、先月の写真は月と紅葉の合成でしたが、今回は加工なしです。実は通勤途中で見る景色です。しかし何もありません。昔はよ雪に大喜びしたものです。今はすっかり…？



とか言っても、こんな幻想的な景色を見ることができるのも雪国特有ですので、記憶と記録にしっかり残しておきたいですね。私のお気に入り風景を紹介しました。来年もどうぞよろしくお願いたします。 菅原

### >> 編集後記

みなさん、こんにちは。12月も早くも中旬になろうとしています。初旬までは穏やかで過ごしやすい日々でしたが、ここ数日で本格的な冬の到来を感じさせる天候になりました。毎年の事とは言えまだ慣れない冬道、注意して走らなければなりません。皆様、いかがお過ごしですか？

今回の特集、『大河原のコートハウス』はいかがでしたでしょうか？震災以降、というわけではないかもしれませんが、ご両親と一緒に暮らす、ご実家の近くで暮らす、という事例が以前に比べて多くなっているような気がします。ご実家のお隣に新居を新築するという事例もこの1年で数件ありましたし、計画中の物件にも数例あります。家族とはそのようなものなのかもしれませんが、やはりそれぞれの結びつきといったわりの気持ちが表われているのだと感じます。当然のことながら、ご夫婦や子供さんとの絆もまた大変重要視され、家族と過ごす時間を充実させたいという思いがひしひしと伝わってきます。大河原のコートハウスもそのような雰囲気の写真からも伝わるのではないのでしょうか。真夏のある休日、家族がリビングに集ってそれぞれの時間を過ごしている様子を見ながら、やっぱり『家』はいいな、としみじみと感じるのでした。

さて、来る2015年も、皆様にとりましてよいお年でありますように。それでは次回どうぞお楽しみに。(1月のニュースレターは第三木曜日の1月15日とさせていただきます。)

### お知らせ



住宅雑誌リプラン東北版 2014 年秋冬号に、川平の家が掲載されました。  
『炎を囲む暮らし』  
緻密な計算で生まれた炎を眺めて暮らす家  
薪ストーブの前で過ごす贅沢な時間  
とご紹介いただきました。



住宅雑誌リプラン 2015 冬春号 臨時増刊  
『薪ストーブ・ペレットストーブで、冬を楽しむ。2015』  
に、川平の家が掲載されました。  
細部にわたって、ご夫妻それぞれの夢が叶った家  
暮らしの中心に薪ストーブを据え快適な空間と充実した時間を実現  
とご紹介いただきました。



ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所  
仙台オフィス  
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932  
秋田オフィス  
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316  
HP: <http://www.issei-design.com/>  
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>  
Mail: [info@isei-design.com](mailto:info@isei-design.com)



11月29-30日とパナソニックリビングショウルーム秋田様をお借りして展示・相談会を開催させていただきました。今回のテーマの一つは照明。会場も明るさを抑えて落ち着いた雰囲気にと抑えるというのも、いいものですね。